

THE

Lion

336-C 1R.3Z. FUKUYAMA SHIN ICHI

6

June
2014

新市ライオンズクラブ会報

2013.7~2014.6

336-C地区ガバナースローガン

『シンプルに 継続奉仕』

ガバナー 池田 康彦

福山新市L.C.会長スローガン

『伝統、団結そして

明日のライオンイズムで奉仕』

会長 藤原 平





8月18日 吉備津神社奉仕清掃



9月29日 少女フットベースボール大会



10月10日 愛の献血



10月10日 愛の献血



11月2日 少年野球大会



11月3日 第11回グランドゴルフ大会

『一年を顧みて』

会長 藤原 平

こうして年度を締めくくる広報誌の原稿を書くにつれて、振り返ると瞬く間に1年が過ぎ去った気がします。副会長時代は比較的のんびりさせて貰っていただけに、いざ会長職に本腰を入れようとしていた矢先、膝関節の骨折入院で長期の入院を余儀なくされ、役員、会員の皆様方に大変なご心配、ご迷惑をおかけしたことと存じます。

扱て、本年度我が福山新市ライオンズクラブはCN50周年記念式典を挙行することを大命題にスタートしました。幸いに青木勝之さんが、快く実行委員長を受けていただくと共に、早くから実行委員会組織を組んでいただきました。私自身も年度スローガンを「伝統、団結そして明日のライオンズで奉仕」と定めていましたので如何に50周年を展開するについては自分なりに腐心した積りです。『新市らしく展開するには何をテーマにしたらいいか?』そこで思い立ったのが「こども」でした。我が郷土新市も産業形態が変容しながらも現状を維持でき、我がクラブも隆盛を誇ることができたのも、新市という良き伝統が存続していたからこそであり、これを「こども」に託すにはどんな事業を展開すべきかに腐心しながら各事業部会長、委員長さんと展開したつもりです。しかし、今から考えると私の独断専行もあったのではないかと反省すると共にお詫び申し上げます。初夏の暑い中、広田画伯と町内4小学校の体育館を訪れ、じっと構想を練っている画伯でしたが、その日の夕食会ではすでに「こんな絵を描こうと思っている」と話していただきました。大会前の2月下旬、出来上がった

絵を体育館のステージ上の壁面に掲げた時の小学生たちの「ワア!すごい」という感嘆の声がいまだに鮮明に残っています。卒業前の子供達がこの絵を見て大きく未来に羽ばたいて欲しいという気持ちで一杯でした。



オペラ歌曲を中心とした藤井泰子さんのソプラノ歌唱、少し風変りな関口友宏氏の講演会、いずれも盛況の内に開催できました。又、例年の行事も大変スムーズに遂行できましたのもクラブ会員、ライオンレディをはじめとするご家族の皆様方のご支援、ご協力のおかげと心からお礼申し上げます。

ライオンズクラブは不滅です。否、これから不透明不確実な時代を迎えるだけに社会からその存在価値の増大を囑望されています。メンバーの皆さん60年、70年、100年に向かって前進しようではありませんか!。1年間本当にお世話になり有難うございました。

『お世話になりました。』

幹事 棗田 和敏

若葉が薫る頃となりました、幹事を拝命し一年が過ぎようとしています。藤原会長をはじめ、会員の皆様、伊藤事務局に助言ご協力頂き、至らぬ事も多々ありましたが、

何とか務めさせて頂き、残す期間もあと僅かになりました。

現在、ライオンズクラブ国際協会の一番の課題は会員増強です、家族会員を増やすとか、各クラブ内に支部を作ってほしいとか、各会合での話題も会員増強の話が一番多かったと記憶しております。家族会員、支部会員は例会に出席しなくても良い、会費も少なく、しかし正会員と同じ権利はあるとの事です。336複合地区の運営マニュアルには、例会出席は会員の重要な義務であり、例会の欠席は会員としての権利放棄につながるものと、銘記してあります。



会員の皆様はどうお考えでしょうか。本年度、新市ライオンズクラブは会員皆様にご協力頂き、後藤さん、松葉さん、水野さん、渡邊さんの4名に入会頂きました。残念ですが高須賀さんは転勤の為退会され、新市ライオンズに多大の貢献をされた伊豆田元会長はお亡くなりになりました。しかし、純増2名の目標をおかげさまで達成出来そうです。又、新市ライオンズクラブ50周年の大きな節目の年でもありました。藤原会長、青木実行委員長の強いリーダーシップにより各記念事業も好評を得、式典も滞りなく行われ、サプライズ演出もあり、皆様に大変喜ばれました。特に地元出身の広田稔画伯に依頼し、新市地区四小学校に寄贈した『レモンの森』は私も感動しましたし、

絵を見ながら成長する子供達に、力強さ、夢、希望を与えられる素晴らしい贈り物が出来たと思っております。

幹事を務めさせて頂き、改めてライオンズクラブの組織の大きさと奥深さを知り、又、維持する為には仲間を増やし、ライオンズ必携によりクラブ運営がぶれることなく行えている事も再認識できました。終わりにこの一年間皆様方には大変お世話になりました。ご協力ありがとうございました。

『次年度への想いを寄せて』

第一副会長 小川 和利

いよいよ新しい年度のスタートにあたりこの度、会長の就任をひきうける事に成りました。しかし、当初第三副会長のお話がありました際、私は再三固辞致しました。なぜなら、私は「特発性正常圧水頭症」という病気を抱えています。歩行障害や記憶障害などを伴うもので、思ってもみない状況の下、会長職をおおせつかることの愚かさを自分自身に言い聞かせたからであります。それでも、何度も説得され、一抹の不安がありましたが、何とか出来るのではないかと自問自答しながら、時間の経過と共に、第一副会長の責任の重さに、その不安は、今一層増すのです。しかしながら、役員一同、若い感覚と行動力が、私の片腕としてふさわしいと信じたから、謹んでお受けした次第であります。

基本的には前会長の路線を忠実に見習って参ります。これらは、私に課せられた責任であり、義務であると信じます。

今年度は「地域に愛と奉仕と感謝」これをスローガンに、一年の第一歩を踏み出し

ていきたいと思っております。幸い、これから私と一緒にさせていただく皆さんは、



幹事の出原正晴氏をはじめ、役員の方、気鋭の方々がたくさんいらっしゃいます。それぞれが見事に鍛え上げられた腕利きばかりであります。私のいたらざる所を十分に埋めていただき、ライオンズクラブ51周年に向け、気持ちも新たにその第一歩を、手を堅く結んで踏み出したいと考えています。どうか、御理解の上、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

『次期幹事職を拝命するにあたり』

次期幹事 出原 正晴

次期、幹事職を仰せつかりました出原正晴です。私は2007年7月に、歴史と伝統ある福山新市ライオンズクラブに入会させていただき7年が経過しました。入会した翌年から、各委員会の委員長、ライオンテーマ、副幹事などを務めてまいりましたが、その年代の幹事職の方々が、例会等で、忙しく動かれている姿を拝見しながら、もし、自分がこのポストを依頼されたときに、気持ちよくお受けすることができる環境にあればいいと漠然と考えておりました。入会した当時から考えると、会社の売り上げ、

従業員数も増え、会社の形も変化はしてきましたが、基本的にすべての判断を、私が実際に動きながら対応しなければいけないことは当時から変わりはなく、また、本年は社屋の移転もあり、このお話を頂戴したときは仕事とのバランスをとっていくことができるだろうかと相応に悩み、考えました。しかし、福山新市ライオンズクラブが50年の歴史を積み重ねてきたことは、私と同じような立場で、その職責を全うしてこられた諸先輩方のお蔭であり、また、お声を掛けていただくとこは何よりの光栄と思ひ、個人的に足りない部分があることは十分に認識しておりますが、皆様方のご支援と個人の頑張り、重責を全うしたいと思っております。



改めて、メンバーの皆様方、1年間、小川会長をサポートし、クラブ運営が従来と変わらず円滑に行われますよう頑張ってもらいますので、重ねてご支援の程宜しくお願いいたします。

『50周年記念式典を迎えて』

50周年大会委員長 青木 勝之

今年度は、記念すべき50周年を迎える年に当たり、実行委員長として大役を仰せ

つかり昨年の4月から実行委員会を立ち上げ、皆様のご協力で、組織ができ、一年間を通して準備をして、4月19日の記念式典が出来ましたこと、皆様方に厚く、厚く御礼申し上げます。



振り返れば、半世紀という年月、その間歴代会長一人一人の並々ならぬご尽力により50周年を迎えることが出来ましたこと感謝申し上げます。今後とも、微力ではございますが皆様と力を合わせウィサーブの精神で、次の時代を頑張っ、往きたいと思ひます。大変ありがとうございました。

『1年間の委員会活動をふりかえって』

地区大会参加・平和委員長 藤岡 孝之

委員長としての手探りの就任でしたが、早くから尾道向島L.C 濱本前委員長のアドバイスを頂き、平和ポスターに関しましては4月18日付にて336-C地区101クラブに取り組みを頂きました。福山新市ライオンズクラブをはじめ1R.3Z.4クラブはすべて平和ポスターコンテストに参加いただきました。結果336-C地区で応募枚数4612枚(前年2413枚)特に1R.では1163枚(前年421枚)もの成果を上げることができました。またガバナー公式

訪問質問書にも、平和ポスター取り組みについて、取り上げていただき、集計の結果、問題点を次期委員長に引き継ぎ、より多くの生徒さんに参加して頂ければと思っています。

世界中の11歳~13歳の子供たちが世界平和(今年度テーマ:私たちの世界、私たちの未来)について同じテーマで取り組み、40万人を超える児童が参加して自分の考えを視覚的に表現するという事は、大変大きな意義のあるアクティビティであると思ひます。今後ますます多くの児童さんの参加が頂ければとおもっています。



大会参加におきましては、地区年次大会、複合年次大会、には代議員+補欠と入会5年位の会員の人にも参加して頂き、例会とは違った雰囲気を感じていただき、今後のライオンズ活動に役立てて頂きたいとの要請を、336-C地区各クラブに行いました。4月20日、336-C地区年次大会も広島国際会議場にて開催され、無事終了いたしました。2013年11月7日から行われましたOSEALフォーラム(シンガポール、マリーナベイサンズコンベンションホール)には、福山新市ライオンズクラブより9名の方に参加してご協力を頂き、有難うございました。

お陰様で無事何とか務め終えることができました。最後になりましたが皆様に感謝申し上げます。有難うございました。

『一年を振り返って』

計画委員長 島山 直秀

2012年5月に私が福山新市ライオンズクラブに入会して、時は既に2年が経過しようとしています。今年度は藤原平会長の元、私も計画委員長という大役を仰せつかりました。入会間もない私に勤まるだろうかと大変危惧しました。諸先輩のお話では入会后、早い時点でいろいろな役を意識的に務めさせて、ライオンズのなんたるかを知ってもらうという事で合点がいきました。

計画委員会の最後の大事な事業、6月の最終同伴例会を残すのみという所まで来ました。司会進行は夫人同伴の例会を盛り上げる大事な役どころ。気持ちを込めて無事終われるように、諸先輩方のご期待を裏切らないように努めていきたいと思っております。

この1年を振り返って、個人的に印象に残っている事ことは、この正月にお伊勢さんにお参りに行った事です。我がライオンズクラブでも20年に一度のこの神宮式年遷宮に参加された方が多数でいろいろ聞いておりましたので。

その歴史は飛鳥時代の天武天皇まで遡り、およそ1300年間にわたり挙行されています。今回も内外両宮の正殿を始めとする別宮以下の正殿を作り替え、神座を移し、宝殿、外幣殿、鳥居、御垣など計65棟に渡る全社殿を作り替える他、装束、神宝、宇治橋も造り替えるとの事で、今回の遷宮にかかる総費用は550億円と聞きました。昔はこの費用、国費でしたが現在は全て国民からの募金によって賄われているそうです。単純計算でこの1300年間の維持費は約3兆円という途方もない金額になります。

継続は力なり。なんと日本人はすばらしいものを持って今も継続しているのでしょう。日本人の心の原点はこの神宮から発せられているのかもしれませんが、今年、一番印象に残った出来事でした。

『一年を振り返って』

環境保全・安全福祉委員会
委員長 下川 高広

1年を振り返って、委員会事業としましては、8月の素盞鳴神社の清掃奉仕（早朝例会）をはじめ敬老会での米寿のお祝い、「愛の献血」、グランドゴルフ大会、新市社会福祉協議会への寄贈、薬物乱用防止教室の開催、ランドセルカバーの配布とありました。「愛の献血」では当日大変御迷惑をお掛けしましたが、藤岡会長、清水幹事をはじめ、メンバーの方々のご協力により無事終える事ができました。本当にありがとうございました。

グランドゴルフ大会では、メンバーで参加をし、地域の皆様との交流を大変楽しく



させていただきました。また、薬物乱用防止教室では、戸手小学校、新市小学校で開催しましたが、約45分の授業の中で伝えていくのは、なかなか大変だと感じました。

最後に、メンバーの方々の参加が必要な事業が多い中ご協力して頂き、大変感謝致しております。

1年間どうもありがとうございました。

『一年を振り返って』

Y E. 教育国際委員長 児玉 芳典

本年度を振り返ってみますと、早いもので一年が経過しようとしています。事業計画の中で、初めての取り組みとなりましたライオンズクラブ国際平和ポスター・コンテストの募集をさせて頂きました。メンバーの皆様の根回しもありまして、新市町内の四校の小学校も平和ポスターの主旨を理解され快く承諾して頂き、200名を越す児童がテーマである「私たちの世界 私たちの未来」について色鮮やかな絵の具で力強く平和をアピールしていました。このような世界レベルの社会奉仕活動は、私個人的には、継続出来るものなら継続して頂きたいと思っています。また、チャーターナイト50周年記念事業で青少年健全育成事業として、関口知宏特別講演会を開催しました。事前にチケットの配布・販売をメンバー



の皆様にお願ひし、ご協力して頂きましたところ、大変大勢の市民の皆様にご参集頂

きました。短い時間ではありましたが、その場でしか聞く事の出来ない大変貴重な話を聞かせて頂いたのではないかと考えていますし、皆さんも有意義なひとときを過ごせたのではないかと考えています。

本年度、皆様のご協力、ご支援を賜りまして無事に事業を終える事が出来ましたこと感謝申し上げます。

『会報編集を終えて』

PR・IT・資金獲得委員長 宮原一郎

今年度の委員会事業として、資金獲得事業としては自然食品及びチケット販売をさせて頂きました。検討段階から配布作業までメンバーの皆様にご協力頂きました。PR・IT 事業としてのホームページの更新も、先輩メンバーの方々より大いにご指導・御助言頂きました。また、本紙会報の発行に際しましては、会長はじめ皆様に寄稿のお願いに快くご協力頂きました。CN50周年という大きな事業もあり、文面よりこの1年を終えた感慨も改めて感じられるようです。写真撮影は年間折々に撮らせて頂きましたが、不足なところもある点にご容赦下さい。メンバーの皆様のお陰をもちまして、これらを無事終えることができました。有難うございました。

新会員紹介



後藤 和弘
加富屋株式会社

昨年7月に、寺岡暉様のスポンサーを頂戴し伝統ある福山新市ライオンズクラブに入会させて頂きました後藤和弘でございます。

仕事は相方で加富屋株式会社と言う繊維製品の製造業を営んでおります。今年で51歳になります。父親も長年新市ライオンズクラブに御世話になり、クラブの内容や事業は聞いた事がある程度でした。40歳で府中青年会議所を卒業した後、再三に渡り入会の御誘いを頂いておりましたが、入会をしようと思っていた矢先に46歳の時に突然脳梗塞の病に倒れました。

私は、小学校の時から大学に至るまで剣道をしておりました。小学校時代には町内の水泳大会で記録を出しましたし、地域の消防団活動に祭りへの参加にと体力が一番の自慢でありました。病に倒れた後に左半身に麻痺が残り不自由な身体となりました。私にとって一番の自慢すべきものが無くなり途方に暮れました。発病当初は歩くのは無理、仕事も継続出来ないかもしれないと自分で諦めたりしたものです。しかし入院先の寺岡記念病院の手厚い治療とリハビリ

の先生との意気投合もあり、持ち前の負けん気が湧き上り、他の患者様の三倍四倍の努力をし、何とか歩行の可能な身体に戻して頂きました。

発病当初は正直投げやりになり諦めもしたのですが、家族の暖かい看護やリハビリの過程に於いて、自分は一人で生きているのでは無い、周りの皆さんに生かされているのだと言う事に気が始めました。その気付きに対して報いる方法は無いかと思っていた時に御誘いを頂き、地域に奉仕出来るライオンズクラブに入会を決意致しました。

次年度には資金獲得委員会の委員長も拝命しました。まだまだ入会后一年未経過でしたが少しでもクラブや地域への貢献になればと思い御受けしました。身体の不自由な分だけ皆様に御協力を頂かなければ出来ない事は多くございます。

経験の豊富な諸先輩方の叱咤激励と御教導を御願い致します。今後とも何卒宜しく御願い申し上げます。



松葉 耕二
株式会社マツバ

私は、新市町で幼い頃から繊維を営む家庭に育ち、家業を継ぐつもりでした。しかし、私が高校3年生の時、父が突然亡くなり、母はひなぎく保育園にお世話になり、私は

小売業に入りいつか会社を立ち上げたいと思いは強く、22年が経ちました。その後、リサイクル事業に魅力を感じ東京に半年間ほど修業に出て今の仕事に携わり、権利（中国・四国エリア）を頂き、一人で早朝から夜遅くまで汗を掻いて我武者羅になって働きました。8年前に、リユース卸業を設立し、冷蔵庫・洗濯機・レンジ・地デジテレビの再生を行い国内に納入しております。

以前よりライオンズクラブ入会のお誘いはありましたが、私自身まだまだ未熟なうえ迷う気持ちもあり、お断りしておりましたが、社員にも恵まれ、地元の皆様に支えられてきたことにより今があると思ひ、この度、50周年を迎えられた歴史と伝統ある奉仕活動をされている福山新市ライオンズクラブに入会させて頂きました。藤原平会長様、宮口泰彦様にはお誘い頂きまして誠に有難うございました。

ライオンズクラブの一員として、出逢いを大切に、楽しみながら積極的に奉仕活動をして参ります。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。



水野 直
株式会社広島銀行
新市支店

この度、福山新市ライオンズクラブに入会させて頂きました、株式会社広島銀行新

市支店の水野でございます。

4月1日に着任したばかりで、ライオンズのことはもちろん、仕事・生活面ともに、初めてのこと、わからないことが多く、『日々、発見、成長!』いや、そんなカッコ良いものではなく、『戸惑ってばかり、苦戦』の毎日です(笑)。そのような中、今回、寄稿のお話を頂き、内容を考えたものの、なかなか相応しい話は思いつかないのですが、苦戦している毎日の中で、私が『日々の充実感』のパロメーターとしていることについて、お話したいと思ひます。

それはズバリ『体重』です。『酒』も好きですが、『甘いもの』も大好きな私は、ちょっとでも自分を緩めると、すぐにコンビニのスイーツコーナーへ足が向いてしまいます。袋いっぱいケーキや菓子パンを買って帰って、家族にびっくりされることも度々。いろいろなことが上手く回って、充実している時は、自制できるのですが、なかなか上手いかず、ストレスが溜まってくると、ついつい、『まあ、これくらいは…』となり、気が付くと、体重は増え、ベルトの穴の位置が変わっている現実です。

そうならない為にも、一日も早く、この地での生活に慣れ、自分を律した充実した毎日とし、また、その中でライオンズの活動を理解し、積極的に参加して参りたいと思ひますので、是非とも、ご指導の程、よろしくお願い致します。



事務局



渡邊 裕之
備後総合開発株式会社
新市クラシックゴルフクラブ

この度、寺岡暉様のスポンサーを頂戴し、福山新市ライオンズクラブに入会させて頂きました。備後総合開発株式会社新市クラシックゴルフクラブ支配人の渡邊裕之でございます。

昨年12月に銀行員からゴルフ場支配人という未経験の世界に飛び込み、毎日が失敗や戸惑いの連続で、情緒不安定な状況が続くなか、50周年を迎えられた歴史と伝統のある福山新市ライオンズクラブの一員に加えていただき誠に緊張している状況です。とは言うものの、私自身の肉体および精神は非常に単純な構造でありまして、一日の仕事を終えて、ささやかな「晩酌」タイムを迎え、ほろよい気分を味わえば、たちまち肉体的疲労とストレスは解消でき、明日への挑戦パワーを補充できるようになっております。もちろん「お外の晩酌」は効果倍増です。ライオンズクラブのメンバーとして、楽しく積極的に末永く地元の皆様に奉仕活動を通して貢献して参ります。どうぞ先輩会員の皆様、今後ともご指導、何卒よろしくお願ひいたします。

事務局の伊藤文子さんが6月末をもって退職されることになりました。まだクラブ草創期だった昭和46年7月からCN50周年を祝ったこのたびまで、43年間にわたり当クラブのお世話を頂きました。

「初めの20年間は、事務局はその年度の幹事宅(会社)に机を置き、毎年転々としていました。その後、現事務所に移りました。思い出といえば、以前はよく家族旅行をしていました。あるとき耕三寺に行った時のことです。帰る頃にお子様がひとりいなくなっているのに気がつきました。船の時間も迫り、大騒ぎになりました。バスは3台仕立てていました。そのお子様が、今ではメンバーとしてご活躍です。また、羽須美村へ鮎のつかみどりに行った時は随分歩いて大変でした。ほかにもいろんな企画がありましたが、いつもご家族や子供さんが大勢来られて、賑やかで楽しかった思い出です。メンバーの皆さんにも可愛がっていただきました。これからも皆様のご活躍お祈りしています。 伊藤文子」

伊藤さん、永らくお世話になり有難うございました。

新年度からは、畝川君子(せがわきみこ)さんが来られます。駅家町江良在住。得意なことは美味しいものを作ることだそうです。よろしくお願ひします。





「弔 辞」

謹んで、伊豆田敏治様のご霊前に福山新市ライオンズクラブを代表してお別れの言葉を申し上げます。

時節も直に春に向かわんとする今日、伊豆田先輩の訃報に接し、会員一同洵に残念でなりません。ご遺族並びにご親戚の皆様にお慰めする言葉もなく、皆様方の苦しいかばかりかとお察し申し上げます。

顧みますと、先輩は1969年10月、新市ライオンズクラブに入会され、以来、数々のライオンズクラブに於ける要職に就かれ、1980年から81年幹事、1987年から88年第25代会長、1991年から92年地区委員として、その職を全うされ今日に至るまで、45年間の永きにわたって在籍されました。

先輩は、常に私事を顧みず献身的に地域へご尽力されてこられました。そのご功績は多くの人々の知るところでございます。参加されました数々の奉仕活動は、地域社会の文化向上に役立ち、しかも住みよい郷土づくりの一助として、末永く足跡を残すものと信じております。

先輩は、自ら先頭に立ち、常に微笑みを絶やさず、情熱を持ってやさしくご指導をして下さい、その温厚で柔和な姿は、人々の尊敬を集めて参りました。まさにライオンと呼ばれるにふさわしい先輩でした。今福山新市ライオンズクラブは、来る4月19日創立50周年を迎えようとしているだけに、ここでお別れしなくてはならないことは、誠に寂しく痛恨の極みであります。

私達は先輩の尊いご遺志を受け継ぎ、更にライオニズムの高揚に勤めて参りたいと思います。

今、こうして遺影の前に立ちますと「ニコッ」と笑い手を上げて挨拶をして下さいその笑顔を忘れることができません。

最後のお別れに臨み、生前の輝かしいご功績に感謝申し上げますと共に、ご冥福をお祈りして弔辞といたします。 合掌

平成26年2月6日

福山新市ライオンズクラブ
会長 藤原 平

1年間のアクティビティ

7月

- ・LCIF 1,000ドル5名送金
 - ・LCIF 20ドル62名送金
- 合計金額 611,520 円

8月

- ・早朝例会前吉備津神社清掃奉仕
- 合計金額 10,000 円

9月

- ・フットベースボール大会開催
- 合計金額 50,000 円

10月

- ・自然食品販売で資金獲得
 - ・愛の献血奉仕 400CC 153名
 - ・CN50周年記念事業
『藤井 泰子特別コンサート』開催
 - ・平和ポスターの展示 表彰
 - ・剣道大会助成金を贈る
 - ・中央中学校オータムコンサートの助成
- 合計金額 1,761,422 円

11月

- ・第11回グランドゴルフ大会開催
 - ・少年野球大会開催
- 合計金額 180,000 円

12月

- ・新市町内駅伝大会の後援
- 合計金額 50,000 円

1月

- ・CN50周年記念事業
『関口 知宏特別講演会』開催
 - ・戸手小学校にて薬物乱用防止教室開催
- 合計金額 1,128,898 円

2月

- ・CN50周年記念事業
町内小学校へ広田 稔先生作
『レモンの森』150号贈呈
 - ・新市小学校にて、薬物乱用防止教室開催
 - ・社会福祉協議会へ8万円寄贈
- 合計金額 3,282,420 円

3月

- ・ランドセルカバー190枚贈る
- 合計金額 33,915 円

5月

- ・『愛と光と泉の箱』募金送金
- 合計金額 20,000 円

合 計 労件	13件
金件	17件

金額合計 7,128,175 円



1月28日 薬物乱用防止教室



10月13日 国際平和ポスター表彰



10月13日 藤井泰子特別コンサート



10月13日 藤井泰子特別コンサート



10月13日 藤井泰子特別コンサート



1月19日 関口知宏特別講演会



1月19日 関口知宏特別講演会



4月19日 CN50周年記念式典



4月19日 CN50周年記念式典



4月19日 CN50周年記念式典



4月19日 CN50周年記念式典

